

多羅尾代官陣屋跡

天正十年（一五八二年）、本能寺の変で織田信長が討たれた際、信長の招きで堺（現在の大阪府堺市）を訪れていた家康は、わずかな従者と共に甲賀と伊賀を抜け、本拠の岡崎（現在の愛知県岡崎市）まで命からがら逃げ延びました。

いわゆる「神君伊賀越え」とよばれる家康最大のピンチに、大きく貢献した人物こそ、多羅尾家当主の多羅尾光俊でした。

光俊は、家康が甲賀を通る際の道中警護に尽力し、その功績から旗本に取立てられるとともに、その子どもたちも幕府に重用され、世襲代官として多羅尾の地を治めることとなったのです。多羅尾氏は戦国時代以前からこの地に居館を構えた一族で、甲賀武士として有力な地位を築いていました。

慶長五年（一六〇〇年）、代官に任じられた光俊の子、光太が多羅尾氏の居館に代官所を置いたのが、現在の多羅尾代官陣屋跡であり、甲賀市の史跡に指定されています。

当時の建物は現存していませんが、かつては、大きな茅葺主屋に入母屋造りの瓦葺玄関が付属する、立派な施設が

あったことが古写真からわかります。

今も、山麓に造成された六〇〇〇坪を超える広大な敷地の中に、井戸や石垣、庭園などが残っており、代官職の格式と多羅尾氏の経済的豊かさをうかがい知ることが出来ます。

この多羅尾代官陣屋跡は、これまで非公開でしたが、昨年から地元の保存会と共に環境整備に取り組み、昨秋から期間を定めての公開が始まりました。今年の春にも一般公開が予定されています。

この貴重な機会にぜひ代官陣屋跡へお越しになり、往時の面影を感じてみてはいかがでしょうか。

▼多羅尾代官陣屋の中心建物を写した古写真



▲昨秋の見学会の様子（庭園跡）



問い合わせ
歴史文化財課
☎868026 / ☎868216

新庁舎建設工事について

甲賀市役所新庁舎建設工事は昨年7月に開始し、約6カ月が経過しました。

現在、水口庁舎南別館および車庫などの解体工事が終了し、建設予定地全体の掘削作業を行っています。順調な進捗となっており、2月頃には免震装置を設置するための基礎工事に切り掛かる予定です。今後も来庁者の皆さまには駐車場が少なく、大変なご不便をおかけしますが、引き続きご理解ご協力をお願いします。

また、本年の工事予定は以下の一覧表をご覧ください。

平成29年5月
新庁舎本館完成予定



▲新庁舎建設予定地

2016年（平成28年）												
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
掘削工事					地上躯体工事						内装工事	
		基礎工事			免震装置設置							
								外装工事				

（躯体：建物の構造を支える骨組み）

問い合わせ
総務部庁舎整備室 ☎65-0661 / ☎63-4561

『火災・救急・救助は119番通報』

甲賀消防管内では、119番通報をしていただくと甲賀広域行政組合消防本部にある通信指令課につながるようになっていきます。通報の時は落ち着いて係員の質問に答えてください。

☆119番通報する場合は

- ・火事か・救急か
- ・どこで（水口町の…、近くの目標物は…）

- ・内容は（家が燃えている・〇歳の男性が倒れている）
- ・通報者の名前と連絡先は（消防から再度連絡することがあります）

☆災害情報案内 ☎62-9090

消防が出動している災害について、発生場所等の情報を案内しています。

☆救急医療案内 ☎62-3799

夜間や早朝など診療時間外で受診を希望される時や診療科目が分からない時など、医療機関等の必要な情報を提供しています。

【あなたの落ち着いた通報が命を救います!】

甲賀消防からの
おしらせ



平成27年甲賀消防管内における各種災害の発生件数（11月末現在）

	火災	救急	救助	その他
甲賀市	44	3,262	55	176
前年比	+3	▲62	▲3	+35

問い合わせ
甲賀広域行政組合消防本部 ☎63-7930 / ☎63-7940

「広報あいこうか」が
ホームページでもご覧いただけます

甲賀市ホームページ
甲賀市facebook ページ

<http://www.city.koka.lg.jp/>
<http://www.facebook.com/city.koka>



編集・発行

甲賀市役所 〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地 ☎0748-65-0650 / ☎0748-63-4554
業務時間／8時30分～17時15分（窓口延長日を除く）